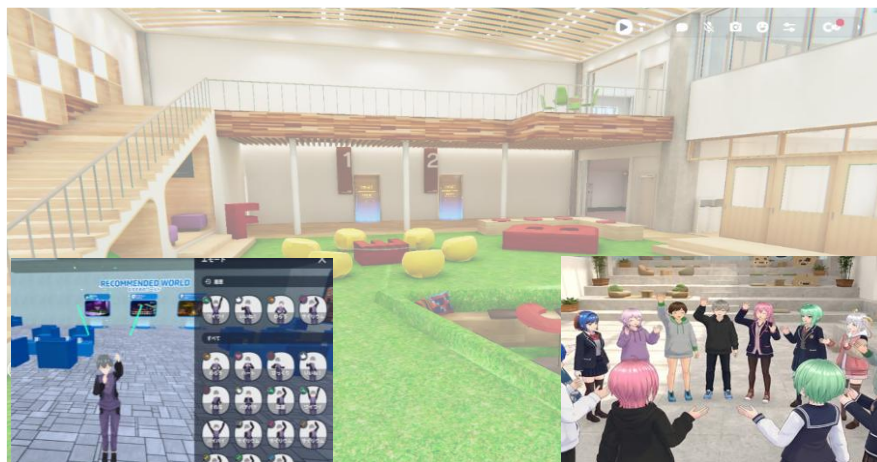


不登校児童・生徒等の支援を強化 「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）」を導入

対面での支援が難しい不登校の児童・生徒等を対象に、仮想空間でアバターを操作し、コミュニケーションや学習等ができるバーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）を導入します。



これまで不登校支援は、教育相談など対面中心で実施してきましたが、支援が届きにくいケースもあることから、令和8年9月にVLPを導入します。

自宅などから参加できる環境を整え、対面に頼らない新たな支援により、不登校の児童・生徒の社会的な自立を後押しします。

1 コンテンツ（予定）

○学習支援

対話型のレクチャーやつまずきの自動診断ができるeラーニング教材を活用し、VLP学習支援員が在籍校の教員や保護者と連携しながら児童・生徒のカリキュラムを作成。

○個別相談

在籍校の教員、VLP学習支援員、不登校対応巡回教員（登校支援コーディネーター）と、1対1でオンライン相談を実施。

○交流機会の提供

クイズ大会やランチ会など、言葉がなくても楽しめるミニイベントを開催。

2 特徴

○全児童・生徒に1人1台配備している学習者用タブレット端末(iPad)からアクセス可能。

○利用時間は、平日の日中（午前9時から午後3時を予定）で、VLP学習支援員が児童・生徒の状況に応じた指導・見守りを行う。

○VLPでの活動状況を学校・保護者・教育委員会事務局で共有し、今後の支援方法の改善につなげます。

3 補正予算額

562万円

【問合せ先】

教育指導担当課長

電話：03-5422-1540



つながる港、つなげる未来

港区は令和9年3月15日に
区政80周年を迎えます